



2023年11月10日発行(季刊)

認定NPO法人 市民シンクタンクひと・まち社
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル501
TEL 03-3204-4342 FAX 03-6457-6202
E-mail npo@hitomachi.org
URL : <http://www.hitomachi.org>
郵便振替口座 00170-6-410791 NPO法人市民シンクタンクひと・まち社

「ともに働く」とは、ともに生きていくこと ～2023年11月、コンチェルティーノは14歳の誕生日を迎えました～

特定非営利活動法人コンチェルティーノ理事長 浅川悦子

個性豊かなメンバーと共に

14年前、重度知的障害のお子さんの働く場所を探していたお母さんとの出会いから産声をあげたコンチェルティーノ…。2009年11月に知的と精神という障害種別の違う2人のメンバーとともに生活クラブ館の清掃事業がスタート。当時、障害種別の違う人が一緒に仕事しているのを見て、福祉関係の方が「画期的！」と感激していたことが思い出されます。

今では、障害種別も多種になり、生活困窮、長年ひきこもりだった人など、違いは千差万別、年齢も10代～80代と幅広いメンバーがそろっています。

同一賃金をめざして

障害のあるなしに関わらず、ともに同一賃金で働くことと決め、「お掃除ぽるか」(清掃業務)「てしごとワルツ」(印刷、封入作業など)、「おでかけマーチ」(ポスティング、畑作業等)の3事業部門を中心として、相談事業、café事業なども運営しています。今年度はさらに環境NPOエコメッセとのコラボで店舗業務の一部を受託し、温かい雰囲気の中楽しく働いています。

複数の事業種があることの良さ

複数の業種の事業があることは、いろいろな人がいろいろな仕事があり、とても貴重で心強いことだと感じています。コロナ禍によりcaféが休業したり、ポスティングが中止になったりした時も、清掃や他の仕事があるおかげで、みんな働くことができました。状況によっては仕事が逆転する場合もあり、それぞれの仕事の特徴を活かして支えあうことができました。

一人ひとりの違いを認め、補い合うという働き方は言葉でいうほど簡単なことではなく、それぞれの努力のもとに成り立ち、いろいろな人の違いがあるからこそその強みもたくさんありました。一方向ではないたくさんの「おかげさま」と「おたがいきさま」が行きかう働き方は素敵で、心強く、持久力のある働き方と感じています。

「ともに働く」とは

ともに働くことは、いろいろなものを分かち合いながら、ともに生きていくことではないでしょうか。一緒に泣いたり笑ったり、一つしかないものは半分っこ…。特別なことはありません。一人分の仕事しかないときは、それぞれの個性にあわせて分け、人数で分け合います。例えば封入作業の場合、①チラシや手紙を折りたたんで、②封筒に入れて③糊で封をする…一通完成したら〇円という場合、これを一人でするとなるとできない人が出てきます。それを①だけ、②だけと分けると、ほとんどの人が参加できます。私たちはこの考え方を他の仕事にも応用しています。

私たちはみんな形の違うジグソーパズル

いろいろな個性が寄り添って1つのことを完成させ、空いている場所がその人の形と違ったら、まわりの人がその人に合わせて少しずつ形を変えられる、そんな柔らかなジグソーパズルでありたい…とみんなで話しています。これが私たちコンチェルティーノの協働の仕方です。何が平等か?何が公平か?同一賃金のことも含め、考え方や方法は1つではないので、それぞれが一緒に働くメンバーと話し合い、これで行こう!と決めていきたいと思います。

私たちは、誰でもが人生という協奏曲の中の主人公…、そしてまた、誰かの人生の脇役でもあります。コンチェルティーノはコンチェルトより小さいけれどずっと自由な協奏曲です。一人ひとりが持てる力を出し合い、心を寄せ合って、元気に、楽しげに…協働のメロディーを奏で続けていきたいと思っています。

この14年間、大きな事故もなく元気に楽しく働いてこられたことは本当にうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。

